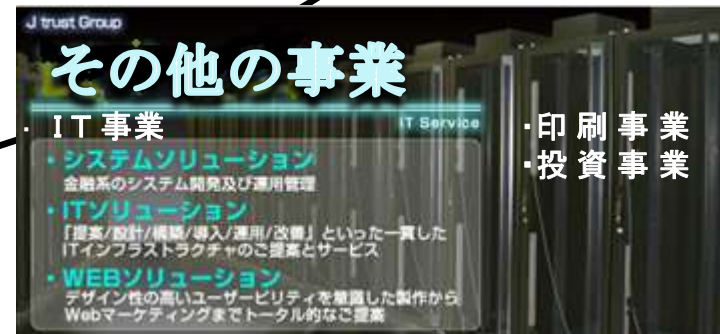
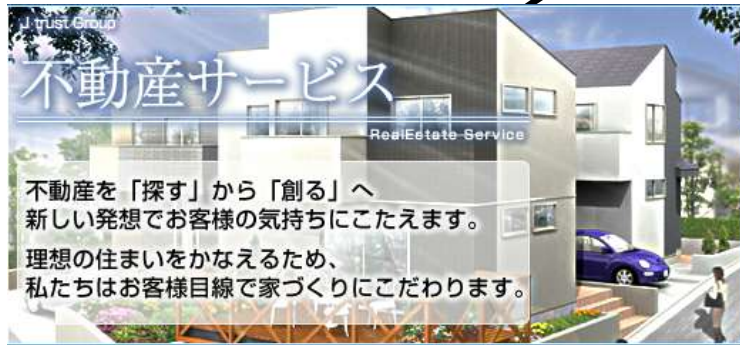


補足説明資料



Jトラスト株式会社

■当社グループの主な取り組みについて

事業再編 M&A

- 韓国貯蓄銀行業への参入
 - ・韓国において、平成24年10月5日に貯蓄銀行業の認可を取得するとともに、経営破たんした(株)未来貯蓄銀行の一部資産・負債を承継し、「親愛貯蓄銀行(株)」として平成24年10月に貯蓄銀行業を開始いたしました。
- JTインベストメント(株)の解散
 - ・中間持株会社としての役割を当社に集約することで、当社グループの経営資源の有効活用、グループ経営の効率化を通じて、グループ全体の経営基盤の強化を図る。

強化

- (株)日本保証と(株)愛媛銀行、KCカード(株)と(株)南日本銀行との間でそれぞれ保証業務提携契約締結
 - ・信用保証事業の拡充のため、保証業務提携先を拡大させることにより、地域のお客さまに役立つ金融サービスを提供するとともに、安定的な収益拡大を図る。
- KCカード(株)におけるEC(電子商取引)サイトの立ち上げ、クレジットカード事業の強化
 - ・ショッピングサイト「eMoMoT.com イーモモットドットコム」の開始
 - ⇒本ショッピングサイトは「いいモノがもっと！」をサイトコンセプトとして、「KCカード会員」／「Ponta(ポнта)会員(※)」限定で購入できるお得なショッピングサイトであり、本サービスを通じてクレジットカード会員数の増加を図る。
 - ※(株)ロイヤリティ マーケティングが運営する共通ポイントプログラム「Ponta」の会員
- 企業価値向上に向けた組織変更(「経営管理部」の新設)
 - ・グループ会社の経営管理を統括し、健全なグループ経営活動の推進及びグループ内部統制の強化を図る

広報・IR

- IR活動(広告媒体、投資家向け会社説明会等)の充実、株主重視の積極活動
 - ・平成25年3月期第2四半期決算説明会(日本証券アナリスト協会主催(11/19))の開催
 - メディア取材及び投資家インタビュー対応の強化
- ホームページの充実度が認められ、日興アイ・アールから「最優秀サイト賞」(上場企業3,570社中77位)、大和インベスター・リレーションズから「優良賞」(全上場企業3,593社中118社が選定)を受賞
- 当社株式の市場代表性や流動性が考慮され、「ラッセル野村プライムインデックス銘柄」に採用
- TVCM「心が躍る篇」放送(株)日本保証
 - ・「日本を再活性化させ、日本を元気にする」のコンセプトのもと、「Re ENERGY」のキーワードで新生武富士の始動をアピール

平成25年3月期第3四半期 連結決算概要

平成25年3月期 第3四半期連結決算概要

■連結業績(累計)の前期比較

単位:百万円

	平成23年12月 (累計)		平成24年12月 (累計)		前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
	実績	百分比 (%)	実績	百分比 (%)			
営業収益	17,246	100.0	40,655	100.0	23,409	135.7	クレジット事業における割賦立替手数料が16.9億円、武富士債権の回収を主要因として貸付金利息が13.4億円、その他の金融収益が32.4億円及び償却債権取立益が46.2億円、不動産事業の収益改善により不動産事業売上高が14.2億円とそれぞれ増加したこと、及びアドアーズ、ブレイクの連結子会社化によりアミューズメント施設収入を91.2億円計上したことにより増加
営業費用	2,819	16.3	13,620	33.5	10,800	383.1	不動産事業の拡大により不動産売上原価が13億円、アドアーズ、ブレイクの連結子会社化によりアミューズメント施設収入原価が78.6億円増加したため増加
営業総利益	14,427	83.7	27,035	66.5	12,608	87.4	
販管費	10,175	59.0	15,454	38.0	5,279	51.9	保証債務の増加により債務保証損失引当金繰入額が12.8億円増加した一方、貸倒引当金繰入額が23.9億円減少したこと等により貸倒関係費が11.7億円減少したものの、事業規模の拡大に伴い人件費が29.8億円、その他経費が34.7億円増加したため増加
営業利益	4,251	24.7	11,580	28.5	7,328	172.4	
経常利益	3,807	22.1	13,076	32.2	9,269	243.5	営業利益が73.2億円増加したうえ、受取配当金が9億円、韓国投資に伴う為替差損益が純額で9.1億円とそれぞれ増加したため増加
当期純利益	32,990	191.3	12,887	31.7	▲ 20,103	▲ 60.9	経常利益が92.6億円増加したものの、前期、特殊要因としてKCカード取得に伴う負ののれん発生益を294.4億円計上したため減少

平成25年3月期 第3四半期連結決算概要

■事業の種類別セグメントの営業収益及び営業利益(連結・累計)の前期比較

単位:百万円

		平成23年 12月 (累計)	平成24年 12月 (累計)	前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
金融事業	営業収益	14,274	26,257	11,983	83.9	グループ全体の事業規模の拡大により販管費が増加したものの、KCカードの取得により割賦立替手数料が増加したことや、日本保証において吸収分割により承継した武富士の消費者向け事業収益が加算されたこと等により、貸付金利息、その他の金融収益及び償却債権取立益が増加したため増加
	営業利益	4,317	11,235	6,917	160.2	
不動産事業	営業収益	1,580	2,983	1,402	88.7	震災以降低迷が続いていた不動産取引市況が徐々に持ち直してきており、また適正な在庫水準の確保・管理に努めたことにより不動産事業売上高が前期比91.5%の増加と堅調に推移したため増加
	営業利益	99	156	56	56.9	
アミューズメント事業	営業収益	—	9,132	9,132	—	当期連結子会社としたアドアーズ及びブレイクのアミューズメント関連の売上を計上したことによる増加
	営業利益	—	145	145	—	
海外事業	営業収益	1,430	1,243	▲ 186	▲ 13.0	営業貸付金残高の減少により営業収益は減少したものの、経費削減等により営業利益は増加
	営業利益	168	278	109	64.5	
その他の事業	営業収益	650	2,285	1,634	251.1	当期連結子会社としたアドアーズの設計施工関連の売上、及び同じくエーエーディの印刷事業売上を計上したこと等による増加
	営業利益	72	206	133	182.6	
計	営業収益	17,936	41,901	23,965	133.6	
	営業利益	4,659	12,021	7,362	158.0	
消去又は 全社	営業収益	▲ 689	▲ 1,246	▲ 556	80.6	当期連結子会社としたアドアーズ及びエーエーディとのセグメント間の取引(アミューズメント事業及びその他の事業⇄金融事業)が増加したことによる増加
	営業利益	▲ 407	▲ 441	▲ 33	8.2	
連結	営業収益	17,246	40,655	23,409	135.7	
	営業利益	4,251	11,580	7,328	172.4	

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

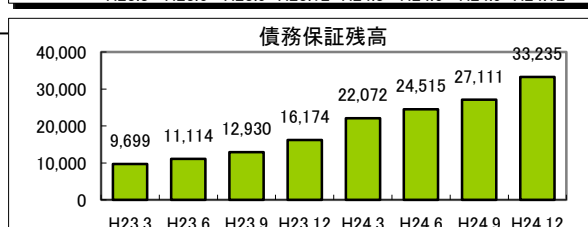
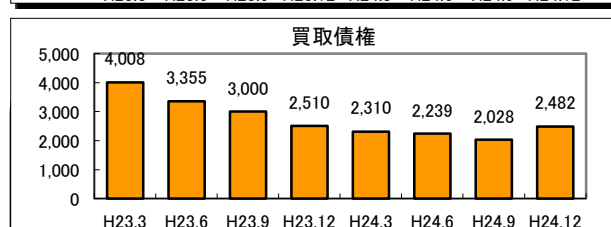
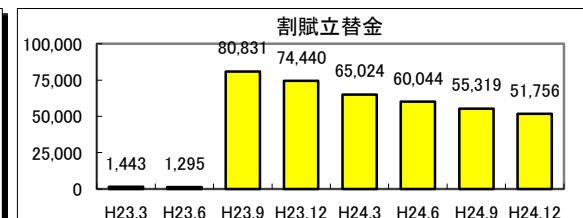
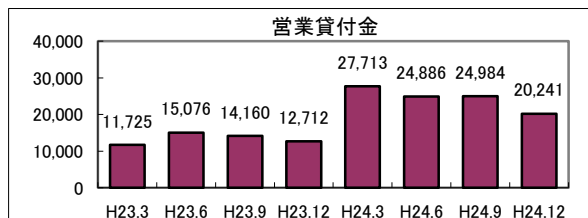
主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

■商品別残高

単位:百万円

	H23.3	H23.6	H23.9	H23.12	H24.3	H24.6	H24.9	H24.12
商業手形	1,900	2,158	2,060	2,084	2,119	2,484	1,784	2,037
営業貸付金	11,725	15,076	14,160	12,712	27,713	24,886	24,984	20,241
銀行業における貸出金								22,517
割賦立替金	1,443	1,295	80,831	74,440	65,024	60,044	55,319	51,756
買取債権	4,008	3,355	3,000	2,510	2,310	2,239	2,028	2,482
長期営業債権	2,286	2,160	10,437	9,779	8,487	7,548	6,603	5,837
債務保証残高	9,699	11,114	12,930	16,174	22,072	24,515	27,111	33,235

◎主な商品別残高の推移



コメント

①商業手形については概ね順調に推移しております。

②営業貸付金については、H24.3に武富士の消費金融事業を日本保証(旧ロプロ)が承継したこと

や、H24.7にネオラインホールディングス(現 JTインベストメント、H24.11解散により清算手続き中)の株式取得による子会社化に伴いクレディアを連結子会社としたこと等により残高が増加しております。なお、直近では回収が順調に進み残高は減少傾向にあります。

③割賦立替金については、H23.8に楽天株式会社からKCカードの株式を取得し、連結子会社としたことにより大幅に増加しております。直近ではリスク軽減を目的とする残高構成の入れ替え方針により、ショッピング残高はほぼ残高の維持で推移しておりますが、キャッシング残高は減少しており、残高は減少傾向にあります。

④買取債権については、回収が進んだ結果、減少傾向にあります。新たな債権の買取について積極的に行っており、H24.12期ではやや増加となりました。

⑤債務保証残高については、西京銀行及び東京スター銀行の貸付に対する債務保証を中心に拡大を図っております。また新たな保証業務契約提携先も順次拡大中であり、順調に残高を積み上げております。

⑥銀行業における貸出金は、韓国において、平成24年10月に親愛貯蓄銀行が、破たんした(株)未来貯蓄銀行から引き継いだ一部資産であります。

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

■貸倒引当金等

単位:百万円

◎貸倒引当金

	H23.3	H23.6	H23.9	H23.12	H24.3	H24.6	H24.9	H24.12
不良債権残高(a)	6,418	6,087	5,244	4,930	8,070	7,739	7,828	14,361
貸倒引当金(b)	3,219	3,307	2,611	2,828	2,608	2,862	3,088	9,400
不良債権残高に対する引当率 (b)/(a)	50.2%	54.3%	49.8%	57.4%	32.3%	37.0%	39.5%	65.5%
割賦立替金に対する貸倒引当金	—	—	13,933	13,005	11,928	10,458	8,859	6,981
その他の貸倒引当金	—	—	—	—	—	—	214	999

※ 担保又は保証が付されている債権については、債権額から担保の処分見込額及び保証による回収見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒引当金を算定しております。また、その他の貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

◎利息返還損失引当金

利息返還損失引当金	5,742	5,276	5,177	4,655	4,150	3,932	9,514	8,856
割賦立替金に対する利息返還損失引当金	—	—	17,629	16,615	15,733	13,935	12,415	11,727

◎債務保証損失引当金

債務保証残高(c)	9,699	11,114	12,930	16,174	22,072	24,515	27,111	33,235
うち 有担保	5,104	6,465	8,076	10,696	12,457	13,961	15,478	16,600
うち 無担保	4,594	4,649	4,854	5,478	9,614	10,553	11,632	16,634
債務保証損失引当金(d)	203	188	180	178	290	286	361	※ 459
債務保証残高に対する引当率 (d)/(c)	2.1%	1.7%	1.4%	1.1%	1.3%	1.2%	1.3%	1.4%

※ その他、子会社が負っている偶発債務に対し、債務保証損失引当金 3,335百万円を計上しております。

コメント

不良債権残高に対する引当率はH24.3期に減少していますが、これは武富士債権の承継時に、回収不能額を引当金と直接減額し承継したため貸倒リスクの少ない債権が増加したためであります。また、H24.12期には大幅に増加していますが、これはH24.10に韓国の親愛貯蓄銀行が、(株)未来貯蓄銀行の一部資産を承継した際、リスクに見合った引当金を計上したことにより、一時的に大幅に増加したものです。

また、H23.9期にKCカードを連結子会社にしたことにより、債権の貸倒れによる損失に備えるため、割賦立替金に対する貸倒引当金及び利息返還損失引当金を計上しており、割賦立替金残高の減少に比例し減少しております。

債務保証損失引当金について、保証業務提携先の拡大に伴い、提携金融機関の無担保貸付に対する債務保証の割合が高くなっております。当該債務保証は、有担保貸付に対する債務保証に比べリスク負担率が高く引当されているため引当率は徐々に増加しております。

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

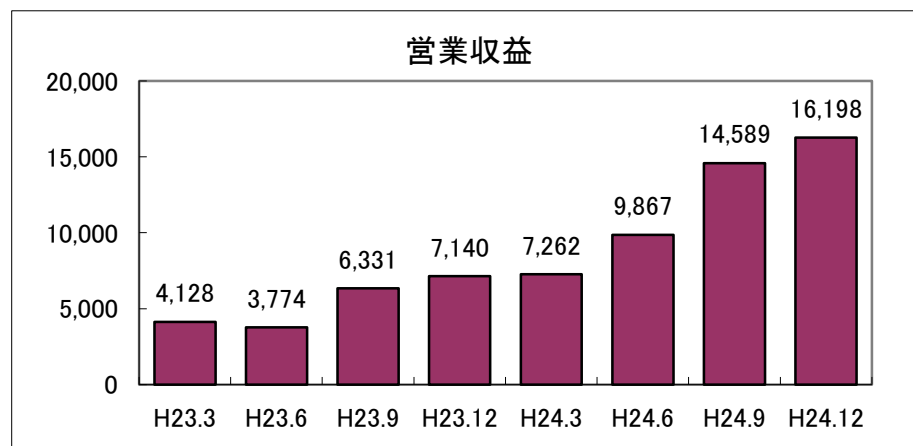
■営業収益

単位:百万円

		H23.3期		H24.3期					H25.3期		
		H23.3	累計	H23.6	H23.9	H23.12	H24.3	累計	H24.6	H24.9	H24.12
受取割引料		46	141	50	52	50	50	204	52	49	42
貸付金利息		620	2,960	949	948	906	835	3,639	1,444	1,414	1,285
買取債権回収高		907	2,669	903	511	698	627	2,740	530	571	593
割賦立替手数料		104	616	88	2,514	3,539	3,094	9,236	2,800	2,597	2,440
保証料収入		146	513	145	167	196	291	801	359	418	431
その他の金融収益		1,116	5,823	1,000	928	774	654	3,358	1,707	1,492	2,751
償却債権取立益				86	122	133	193	536	1,359	1,768	1,843
不動産事業売上高		843	3,167	379	765	410	1,089	2,645	1,090	824	1,064
アミューズメント 関連売上	AM施設収入									4,654	4,475
	その他売上									124	655
その他		342	1,015	169	320	430	425	1,346	521	674	616
営業収益		4,128	16,908	3,774	6,331	7,140	7,262	24,508	9,867	14,589	16,198

※H24.6から償却債権取立益の重要度が増したため別掲しております。また比較のためH23.6から集計しております。

H24.7からアドアーズ及びブレイクの損益を連結したことにより、H24.9からアミューズメント関連売上を別掲しております。



コメント

営業収益は、每期順調に増加しております。

主な内訳としましては、

- ①H23.9期にKCカードを連結子会社としたことにより、割賦立替手数料が大幅に増加しております。
- ②日本保証において吸収分割により承継した武富士の消費者向け事業収益が加算されたこと等により、貸付金利息、その他の金融収益及び償却債権取立益が増加しております。
- ③アドアーズ、ブレイクの連結子会社化によりアミューズメント関連の売上を計上したことにより増加しております。

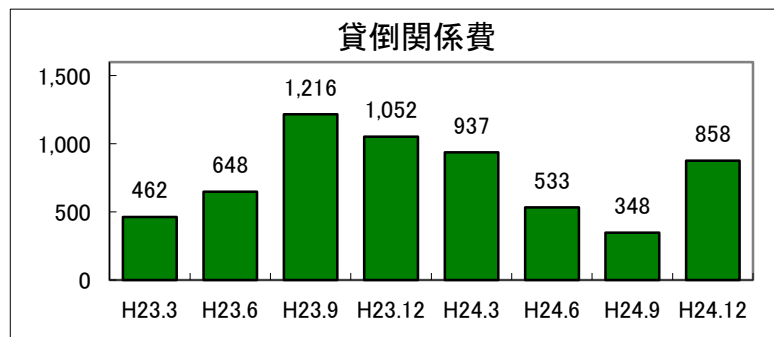
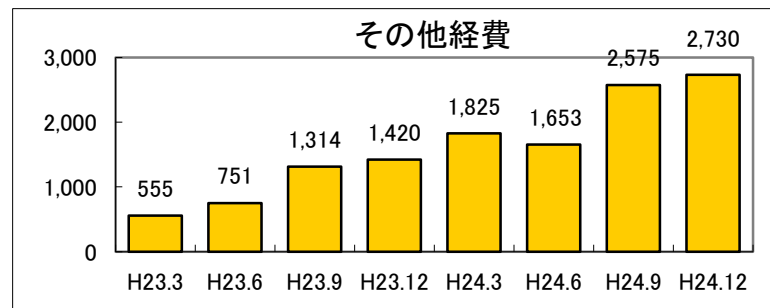
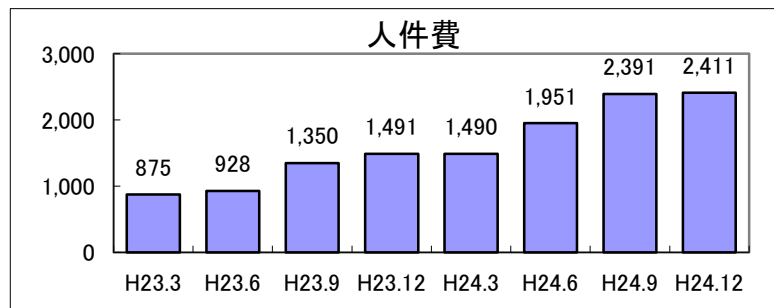
主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

■販売費及び一般管理費

単位:百万円

	H23.3期		H24.3期					H25.3期		
	H23.3	累計	H23.6	H23.9	H23.12	H24.3	累計	H24.6	H24.9	H24.12
人件費	875	2,947	928	1,350	1,491	1,490	5,261	1,951	2,391	2,411
その他経費	555	1,936	751	1,314	1,420	1,825	5,312	1,653	2,575	2,730
貸倒関係費	462	2,567	648	1,216	1,052	937	3,855	533	348	858
販売費及び一般管理費※	1,894	7,451	2,328	3,881	3,965	4,254	14,429	4,138	5,314	6,001

※H23.3期迄は、当該四半期会計期間での引当金の戻入額については、特別利益に含めて表示しており、販売費及び一般管理費の各四半期の合計と累計とは一致しません。なお、H23.6期以降は、【当四半期累計－前四半期累計】で算出した金額を当該四半期会計期間の計数としております。



コメント

人件費、その他経費について、前期、ネオラインクレジット貸付やKCカードを連結子会社としたことや、武富士の消費者金融事業を日本保証が承継したこと、また当期においても、ネクストジャパンホールディングス(株式交換)やネオラインホールディングス(株式取得、H24.11解散により清算手続き中)の連結子会社化など事業規模の拡大に伴い大幅に増加しております。また貸倒関係費については、H23.9期にKCカードの取得以降、対象残高の減少や貸倒実績率の低下により繰入負担が減少していることに伴い減少しておりましたが、H24.12期には、過払い債権に対して、任意和解による早期和解を促進した結果、増加した和解実績を受けて利息返還損失引当金繰入額を見直した結果、増加しております。

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

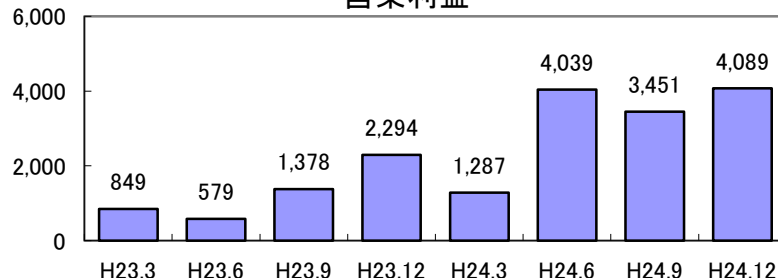
■四半期連結業績

単位:百万円

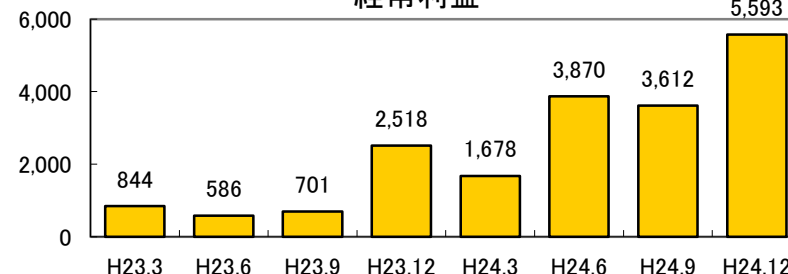
	H23.3期		H24.3期					H25.3期		
	H23.3	累計	H23.6	H23.9	H23.12	H24.3	累計	H24.6	H24.9	H24.12
営業利益※	849	4,324	579	1,378	2,294	1,287	5,539	4,039	3,451	4,089
経常利益※	844	4,323	586	701	2,518	1,678	5,486	3,870	3,612	5,593
当期純利益	1,344	3,233	377	29,928	2,684	1,510	34,500	3,991	3,453	5,442
うち負ののれん発生益	—	—	—	29,444	—	—	29,444	155	139	—
〃 除く当期純利益	1,344	3,233	377	484	2,684	1,510	5,056	3,836	3,313	5,442

※H23.3期迄は、当該四半期会計期間での引当金の戻入額については、特別利益に含めて表示しており、営業利益、経常利益の各四半期の合計と累計とは一致しません。なお、H23.6期以降は、【当四半期累計—前四半期累計】で算出した金額を当該四半期会計期間の計数としております。

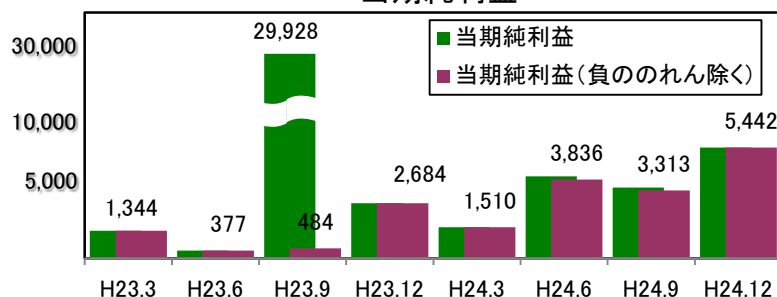
営業利益



経常利益



当期純利益



コメント

H24.3期におけるKCカードの連結子会社化や、日本保証の吸収分割による武富士の消費者向け貸付の承継、及び、当期におけるネクストジャパンホールディングス(株式交換)やネオラインホールディングス(株式取得、H24.11解散、清算手続き中)の連結子会社化などによる事業規模の拡大に伴い販管費は増加しましたが、割賦立替手数料や、貸付金利息、償却債権取立益、その他の金融収益及びアミューズメント施設収入が増加し、営業利益、経常利益、当期純利益とも順調に増加しております。

主要な連結経営指標等の推移

■過払金返還請求に伴うキャッシュアウト額等

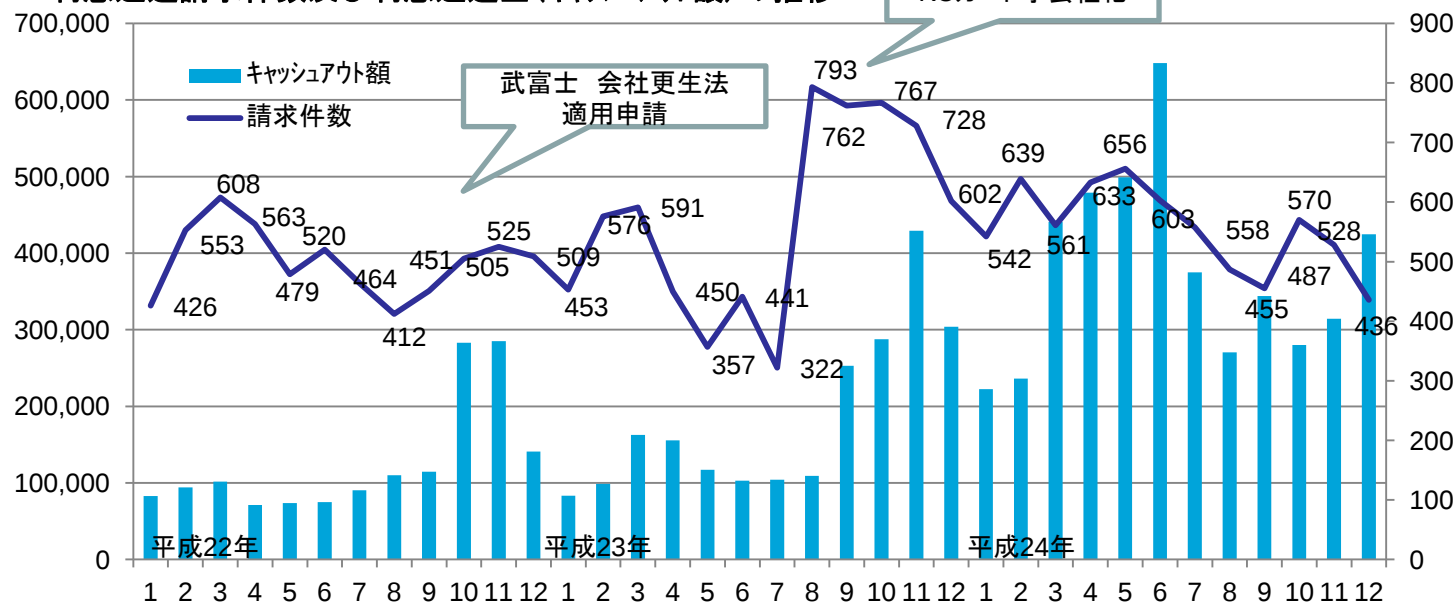
単位: 件、千円

	H22.1	H22.2	H22.3	H22.4	H22.5	H22.6	H22.7	H22.8	H22.9	H22.10	H22.11	H22.12
請求件数	426	553	608	563	479	520	464	412	451	505	525	509
前年同月比	-	-	-	84.6%	76.8%	50.3%	80.5%	79.1%	49.3%	66.7%	6.1%	▲20.7%
キャッシュアウト額	82,730	94,278	101,637	70,995	73,825	74,725	90,177	110,043	114,750	283,218	285,182	141,075

	H23.1	H23.2	H23.3	H23.4	H23.5	H23.6	H23.7	H23.8	H23.9	H23.10	H23.11	H23.12
請求件数	453	576	591	450	357	441	322	793	762	767	728	602
前年同月比	6.3%	4.2%	▲2.8%	▲20.1%	▲25.5%	▲15.2%	▲30.6%	92.5%	69.0%	51.9%	38.7%	18.3%
キャッシュアウト額	83,448	98,702	162,716	155,484	116,941	102,897	103,980	109,224	253,017	287,401	429,263	303,902

	H24.1	H24.2	H24.3	H24.4	H24.5	H24.6	H24.7	H24.8	H24.9	H24.10	H24.11	H24.12
請求件数	542	639	561	633	656	603	558	487	455	570	528	436
前年同月比	19.6%	10.9%	▲5.1%	40.7%	83.8%	36.7%	73.3%	▲38.6%	▲40.3%	▲25.7%	▲27.5%	▲27.6%
キャッシュアウト額	222,316	236,405	441,019	479,082	498,907	648,290	375,019	270,622	343,812	280,099	314,408	424,735

利息返還請求件数及び利息返還金(キャッシュアウト額)の推移



コメント

過払金請求件数については、H23.8にKCカードを連結子会社としたことに伴い加算されましたが、直近では前年同月比マイナスが続いており減少しております。

キャッシュアウト額につきましては、H24.3期以降、早期和解を目的として任意和解を推進したことで和解件数が増加し、キャッシュアウト額も増加しておりますが、直近では請求件数が減少しているうえ、返還率(請求金額に対するキャッシュアウト額支払の割合)が高い債権者に対し任意和解を前倒しで推進したことにより、返還率が低下したため、キャッシュアウト額も減少しております。

平成25年3月期連結業績予想の進捗

平成25年3月期連結業績予想

単位:百万円

		25年3月期通期		25年3月期 第3四半期(累計)		通期
		計画	百分比(%)	実績	百分比(%)	進捗率(%)
営業収益		56,070	100.0	40,655	100.0	72.5
(主な内訳)	貸付金利息	5,124	9.1	4,144	10.2	80.9
	割賦立替手数料	9,713	17.3	7,838	19.3	80.7
	保証料収入	1,866	3.3	1,208	3.0	64.7
	不動産事業売上高	3,973	7.1	2,979	7.3	75.0
	アミューズメント関連売上※	15,343	27.4	9,909	24.4	64.6
	償却債権取立益	6,605	11.8	4,970	12.2	75.3
	その他の金融収益	7,022	12.5	5,951	14.6	84.7
営業利益		11,619	20.7	11,580	28.5	99.7
経常利益		12,048	21.5	13,076	32.2	108.5
当期純利益		11,564	20.6	12,887	31.7	111.4

※予算計画上、アミューズメント事業以外の売上(完成工事高等)も含まれます。実績も同様に反映しています。

コメント

平成25年3月期第3四半期(累計)の業績につきましては、KCカードにおける割賦立替手数料や日本保証が会社分割により承継した武富士の消費者金融事業からの貸付金利息、償却債権取立益及びその他の金融収益の好調な推移を背景に、営業収益はほぼ計画通りに、営業利益、経常利益、四半期純利益は、計画を上回って推移いたしました。

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、すでに第3四半期(累計)において経常利益及び当期純利益が通期連結業績予想を上回って推移しておりますが、第4四半期以降もアミューズメント関連事業で引き続き集客数や顧客単価の伸び悩み等が見込まれることや、平成24年10月から韓国で営業を開始した親愛貯蓄銀行への初期投資費用など減収要因を見込んでいることから、平成24年11月7日に公表いたしました通期連結業績予想から変更していません。

(参考1)

**平成25年3月期第3四半期個別決算概要
及び個別業績予想の進捗**

平成25年3月期個別決算概要

■業績(累計)の前期比較

単位:百万円

	23年12月 (累計)		24年12月 (累計)		前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
	実績	百分比 (%)	実績	百分比 (%)			
営業収益	2,451	100.0	2,851	100.0	399	16.3	債権買取業務におけるその他の金融収益が8億円減少したもの、子会社からの受取配当金が10.6億円、ネクストジャパンホールディングスの長期貸付金を合併により当社が承継したこと等による受取利息が0.6億円、信用保証業務における2次保証による保証料収入が0.8億円とそれぞれ増加したことにより増加
営業費用	534	21.8	925	32.5	391	73.3	KCカードの取得に伴う借入金の増加に伴い、借入金利息が3.9億円増加したことにより増加
営業総利益	1,917	78.2	1,925	67.5	8	0.4	
販管費	825	33.7	1,000	35.1	174	21.2	ネクストジャパンホールディングスとの合併により、のれん償却費を1.2億円計上したことにより増加
営業利益	1,092	44.5	925	32.5	▲ 166	▲ 15.2	
経常利益	1,126	46.0	966	33.9	▲ 159	▲ 14.2	
当期純利益	644	26.3	962	33.8	318	49.4	経常利益が1.5億円減少したもの、法人税、住民税及び事業税が4億円、法人税等調整額が0.7億円負担が減少したことにより増加

単位:百万円

		25年3月期通期		25年3月期 第3四半期(累計)		通期
		計画	百分比 (%)	実績	百分比 (%)	進捗率(%)
営業収益		3,258	100.0	2,851	100.0	87.5
(主な内 訳)	受取利息	665	20.4	536	18.8	80.6
	受取配当金	1,689	51.9	1,604	56.3	95.0
	その他の金融収益	653	20.1	572	20.1	87.6
営業利益		617	19.0	925	32.5	149.8
経常利益		648	19.9	966	33.9	149.0
当期純利益		859	26.4	962	33.8	112.0

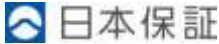
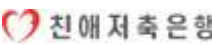
コメント

平成25年3月期第3四半期(累計)の業績につきましては、債権買取業務におけるその他の金融収益の減少や、ネクストジャパンホールディングスとの合併及びJTインベストメントの株式取得に係る費用の増加等を要因として、のれん償却費等の販管費が増加し、減少いたしました。が、受取利息の増加や、好調な業績を背景とした日本保証からの受取配当金(中間配当金)によって営業収益は増加した結果、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想を上回って推移しております。

平成25年3月期第4四半期以降につきましても、JTインベストメントの清算に伴う清算配当金の増加などが見込まれるものの、その他の金融収益の減少等不透明な要因もあり、通期業績につきましては平成24年11月7日に公表いたしました個別業績予想から変更しておりません。

(参考2)

主要な連結子会社の業績の概要

金融事業	 日本保証	株式会社日本保証
		パルティール債権回収株式会社
	 西京銀行グループ	西京カード株式会社
		KCカード株式会社
	 クレディア	株式会社クレディア
不動産事業		キーノート株式会社
アミューズメント事業		アドアーズ株式会社
		株式会社ブレイク
海外事業	 친애저축은행	親愛貯蓄銀行株式会社
	 NEOLINE CREDIT	ネオラインクレジット貸付株式会社
その他事業	 J TRUST SYSTEM	Jトラストシステム株式会社
		株式会社エーエーディ



商号：株式会社日本保証
 代表者：代表取締役社長 山元 俊英
 本社所在地：東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
 設立年月日：昭和45年3月17日
 事業内容：総合金融業(事業者向け融資 消費者向け融資
 信用保証業務・債権買取業務)
 登録：貸金業登録 近畿財務局長(10)第00101号
 宅地建物取引業者免許 国土交通大臣(1)第8092号
 加盟団体：日本貸金業協会会員 第002268号
 JCFA(日本消費者金融協会)
 決算期：2月
 資本金：95百万円
 株主構成：Jトラスト株式会社 100%



同社HP

沿革

昭和45年 3月 (株)日栄設立
 平成 8年 9月 東証第一部及び大証第一部上場
 平成14年11月 商号を「(株)ロプロ」に変更
 平成21年11月 会社更生手続き開始申立
 平成21年12月 Jトラスト(株)との間でスポンサー契約締結
 平成22年 7月 更生計画認可決定
 平成22年 9月 募集株式の全株式をJトラスト(株)に割当、
 Jトラスト(株)の子会社となる
 平成22年 9月 会社更生手続き終結
 平成22年12月 Jトラストフィナンシャルサービス(株)を吸収合併
 平成23年12月 Jトラスト(株)が更生会社(株)武富士との間で
 スポンサー契約締結(承継会社は(株)ロプロ)
 平成24年 3月 更生会社(株)武富士の消費者金融事業を吸収分割により承
 継
 平成24年 7月 (株)たかせんを吸収合併
 平成24年 9月 (株)日本保証を吸収合併、商号を「(株)日本保証」に変更



昭和45年 3月 (株)大新クレジットビューロー設立
 平成14年 5月 阪急電鉄(株)の子会社となる(同年9月に(株)ステーション
 ファイナンスに商号変更)
 平成21年 3月 阪急電鉄(株)が全株式をJトラスト(株)に譲渡、Jトラスト(株)の
 子会社となる
 平成21年 7月 商号を「Jトラストフィナンシャルサービス(株)」に変更
 平成22年 5月 Jトラスト(株)より貸金業務部門を承継し、消費者向け融資だけで
 なく、事業者向け融資を行う総合金融会社となる
 平成22年10月 Jトラスト(株)より信用保証業務部門も承継

単位:百万円

P/L(累計)

	H23.12	H24.12	前期増減
営業収益	4,505	13,891	9,386
営業利益	291	6,514	6,223

・日本保証の決算月は2月末であり、重要な取引について連結上必要な調整を行っております。
 ・営業収益、営業利益とも、旧ロプロ、旧日本保証の単純合算で比較しています。



商号 : パルティール債権回収株式会社
 代表者 : 代表取締役社長 上村 憲生
 本店所在地 : 東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
 設立年月日 : 平成19年8月23日
 事業内容 : サービス業務
 (特定金銭債権の買取、債権管理、回収、管理・回収受託)
 登録 : 許可番号:法務大臣 第113号
 宅地建物取引業者免許 東京都知事(1)第92180号
 加盟団体 : 全国サービス協会
 東京都宅地建物取引業協会
 決算期 : 3月
 資本金 : 5億円
 株主構成 : JTラスト株式会社 100%

Topics

平成24年2月20日 プライバシーマークを取得いたしました



「プライバシーマーク」は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が運用する「プライバシーマーク制度」に基づいて、会社の個人情報の取扱いがJIS Q 15001「個人情報保護マネジメントシステムに関する要求事項」に準拠して適正に行われていることを認定したマークであり、個人情報の適切な保護体制を整備している事業者に対して付与されるものです。



同社HP

P/L(累計)

単位:百万円

	H23.12	H24.12	前期増減
営業収益	1,249	960	▲289
営業利益	346	150	▲196



同社HP

商 号：西京カード株式会社
 代 表 者：代表取締役社長 秋山 文彦
 本 店 所 在 地：山口県周南市銀南街4番地 ウエスト92ビル4F
 設 立 年 月 日：平成6年4月12日
 事 業 内 容：個別信用購入あっせん業務 融資業務
 登 録：貸金業登録 中国財務局長(7)第00101号
 個別信用購入あっせん登録 中国(個)第8号
 加 盟 団 体：日本貸金業協会会員 第002603号
 決 算 期：3月
 資 本 金：60百万円
 株 主 構 成：Jトラスト株式会社 80%
 株式会社西京銀行 20%
 母 体 金 融 機 関：株式会社西京銀行

P/L(累計)

単位:百万円

	H23.12	H24.12	前期増減
営業収益	214	250	36
営業利益	25	30	4



同社HP

商号：KCカード株式会社
 代表者：代表取締役社長 安藤 聡
 本店所在地：福岡市博多区博多駅前三丁目4番2号
 設立年月日：昭和38年4月26日
 事業内容：クレジット、カードローン、信用保証業務、不動産業務他
 登録：包括信用購入あっせん業者登録 九州(包)第30号
 個別信用購入あっせん業者登録 九州(個)第14号
 貸金業登録 福岡財務支局長(10)第00030号
 第三者型前払式支払手段発行業者登録 福岡財務支局長第00088号
 加盟団体：日本貸金業協会 日本貸金業協会会員 第002328号
 決算期：12月
 資本金：3,055百万円
 株主構成：Jトラスト株式会社 97.76%(議決権割合)
 一般株主 2.24%

沿革：
 昭和38年4月 鹿児島信販の前身である信用開発を設立、その後、国内信販と合併し、商号を国内信販(株)に変更
 平成17年6月 楽天(株)が買収、商号を楽天KC(株)に変更
 平成23年8月 会社分割でカード事業のうち楽天カードに関する事業を楽天クレジット(株)に承継
 商号をKCカード(株)に変更、Jトラスト(株)が株式取得・連結子会社化
 平成24年3月 アドアーズ(株)と業務提携し、レンタル事業に進出

P/L(累計)

単位:百万円

	H23.8~H23.12	H24.12
営業収益	6,347	9,375
営業利益	2,858	4,813



同社HP

商号：株式会社クレディア（CREDIA CO.,LTD.）
 代表者：代表取締役社長 佐藤 友彦
 本店所在地：静岡県静岡市駿河区南町10番5号
 設立年月日：平成20年7月8日
 事業内容：個人向けローン業務・事業者向けローン業務・信用保証業務・
 その他業務
 登録：貸金業登録 東海財務局長(2)第00165号
 宅地建物取引業者免許 静岡県知事(1)第13120号
 加盟団体：日本貸金業協会会員 第005408号
 決算期：3月
 資本金：3億円
 株主構成：JTインベストメント株式会社 100%
 (JTトラスト 100%子会社)

KEYNOTE



同社HP

商 号 : キーノート株式会社
 代 表 者 : 代表取締役社長 橋本 泰
 本店所在地 : 東京都目黒区東山一丁目6-2 メイコービル6F
 設立年月日 : 平成8年7月10日
 事 業 内 容 : 不動産売買業(一戸建住宅及びマンションの開発分譲)
 中古住宅再生事業(中古住宅を仕入れ、リノベーションして販売する業態)
 不動産仲介業
 コンサルティング事業
 登 録 : 宅地建物取引業者免許 国土交通大臣(1)第7845号
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第55909号
 特定建設業 東京都知事 許可(特-22)第135078号
 決 算 期 : 3月
 資 本 金 : 3,000万円
 株 主 構 成 : Jトラスト株式会社 100%

沿 革 :
 平成 8年7月 設立(当社子会社として)
 平成21年5月 関東エリアへ進出
 平成22年2月 (株)ニードの発行済株式の全株式を取得し、
 吸収合併

P/L(累計)

単位:百万円

	H23.12	H24.12	前期増減
営業収益	1,562	2,531	969
営業利益	35	81	46



同社HP

商号：アドアーズ株式会社(証券コード 4712:JASDAQスタンダード上場)
代表者：代表取締役会長 藤澤 信義
本店所在地：東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
設立年月日：昭和39年2月11日(創業) 昭和42年12月25日(設立)
事業内容：アミューズメント施設の運営、企画、開発、設計、施工、デザイン、監理
遊戯機器及び遊戯機器・部品のレンタル、修理及び保守管理業務
決算期：3月
資本金：44億5百万円
株主構成：Jトラスト株式会社 34.16%(議決権割合)
GF投資ファンド投資事業有限責任組合 34.12%(")
その他 31.72%
直営店舗数：66店舗(平成24年3月31日現在)

沿革：
昭和42年12月 輸入娯楽機を中心としたゲーム機設置営業を目的として(株)シグマを設立
昭和47年 7月 ゲーム機器の自社開発を開始
平成10年11月 日本証券業協会(現大阪証券取引所 ジャスダック市場)に株式を店頭登録
平成12年 2月 アルゼ(株)(現(株)ユニバーサルエンターテインメント)の資本参加によりアルゼグループの一員となる
平成12年10月 (株)シグマ(存続会社)、(株)テクニカルマネージメント、(株)環デザインの3社が合併し、社名をアドアーズ(株)に変更
平成23年 4月 (株)ゲオへのカプセル自販機設置業務一括受託に伴い、新規事業としてベンディング事業を開始
平成23年 6月 資本提携先である(株)ネクストジャパンホールディングス(現 Jトラスト(株))へ第三者割当増資を実施、同社が筆頭株主となる
平成24年 3月 KCカード(株)とレンタルビジネスにおける業務提携を締結、「レンタル! アドアーズ」第1号店開設
平成24年 6月 Jトラスト(株)による連結子会社化に伴い、Jトラストグループの一員となる
平成24年10月 JASDAQ市場にて、J-Stock銘柄に選定される

(参考)平成24年12月31日 B/S 単位:百万円

科目	金額	科目	金額
資産	17,562	負債合計	7,967
		純資産合計	9,594
資産合計	17,562	負債・純資産合計	17,562



同社HP

商号：株式会社ブレイク
代表者：代表取締役社長 齊藤 慶
本店所在地：東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
設立年月日：平成19年2月1日
事業内容：アミューズメント機器用景品の企画・製作・販売及びアミューズメント施設の運営及びコンサルティング等
決算期：3月
資本金：7,500万円
株主構成：Jトラスト株式会社 100%

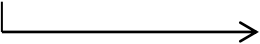
(参考)平成24年12月31日 B/S 単位:百万円

科目	金額	科目	金額
資産	1,706	負債合計	1,525
		純資産合計	181
資産合計	1,706	負債・純資産合計	1,706

沿革：

平成18年10月 (株)ブレイク設立、アミューズメント機器用景品の製造・販売に関する事業開始
平成21年 4月 (株)ネクストジャパンホールディングス(現 Jトラスト(株))の100%子会社となる

(株)ブレイク



平成22年8月
平成24年4月

(株)ネクストジャパン

(旧)(株)ネクストジャパンから分社化、(株)ネクストジャパン設立、アミューズメント施設直営事業を引き継ぐ

(株)ネクストジャパンを存続会社として(株)ブレイクを吸収合併、同時に商号を(株)ブレイクに変更
親会社である(株)ネクストジャパンホールディングスが株式交換によりJトラスト(株)に完全子会社化(のち、平成24年7月に合併)され、Jトラスト(株)の100%子会社となる



平成24年10月5日未来貯蓄銀行から、資産・負債を引き継ぎ、平成24年10月12日から営業を開始しております。

同社HP

商号 親愛貯蓄銀行株式会社
代表者 代表理事 ユン・ビョンムク
本店所在地 ソウル特別市瑞草区師任堂路157
設立年月日 平成24年8月13日
事業内容 貯蓄銀行業
決算期 6月
資本金の額 620億ウォン
株主構成 KCカード株式会社 100%
(Jトラスト 97.76%保有)
従業員数 385名(平成24年10月12日現在)
支店数 15支店 ※本店及び出張所を含む

(参考) 承継した資産、負債の項目及び金額 単位: 百万円

科目	金額	科目	金額
流動資産	72,181	流動負債	75,002
固定資産	0	固定負債	0
資産合計	72,181	負債合計	75,002

※平成24年10月5日現在 1ウォン≒0.0705円で換算しております。



このシンボルマークは、
Savings bank that warms your heart を表現しております。
「お客様への心温まる対応」そして
「お客様の感動が私たちの喜び」を、
マークに込めております。



同社HP

商 号 : ネオラインクレジット貸付株式会社
 代 表 者 : 代表取締役社長 渡辺 高史
 本 店 所 在 地 : ソウル特別市江南区テヘラン路420 HLMCビル12階
 設 立 年 月 日 : 平成21年10月26日
 事 業 内 容 : 消費者金融業務
 決 算 期 : 9月
 資 本 金 : 130億ウォン
 株 主 構 成 : JTラスト株式会社 100%

P/L(累計)

単位: 百万円

	H23.12	H24.12	前期増減
営業収益	1,430	1,242	▲187
営業利益	187	340	152

※ 1ウォン≒0.0713円で換算しております。



同社HP

商 号 : JTラストシステム株式会社
 代 表 者 : 代表取締役社長 家田 孝
 本店所在地 : 東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
 設立年月日 : 平成21年5月27日
 事 業 内 容 : コンピューターによる企業経営全般に関する
 計算事務の代行及び経営管理指導、
 コンピューターの運用及び管理業務の請負、
 コンピューターのソフトウェア受託開発及び運用指導
 決 算 期 : 3月
 資 本 金 : 8,000万円
 株 主 構 成 : JTラスト株式会社 100%

P/L(累計)

単位:百万円

	H23.12	H24.12	前期増減
営業収益	651	736	85
営業利益	50	37	▲12



商号 : 株式会社エーエーディ
 代表者 : 代表取締役社長 坂本 英司
 本店所在地 : 東京都中央区東日本橋2丁目16-4 NSビル3F
 創業年月日 : 昭和32年7月1日
 事業内容 : 広告宣伝 及び 広告代理業
 イベントの企画・制作 及び 運営
 ウェブサイトの企画・立案 及び 制作
 スマートフォン・iPhone・iPad販売 及び アプリ等企画・立案 及び 制作
 ポスター・カタログ等の商業印刷全般
 CF・PV等の撮影・編集 及び DVD・CD等の企画・制作
 デジタルサイネージ企画・制作・運営
 営業管理コンサルティング
 決算期 : 3月
 資本金 : 3,000万円
 株主構成 : JTインベストメント株式会社 100%
 (Jトラスト 100%子会社)
 資格認証 : FSC®森林認証制度(FSC® C092617)
 ISO27001認証(IS 98440)



同社HP

(参考)平成24年12月31日 B/S 単位:百万円

科目	金額	科目	金額
資産	640	負債合計	189
		純資産合計	451
資産合計	640	負債・純資産合計	640

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じることがありますのでご承知ください。

【 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先 】

Jトラスト株式会社 広報・IR部

TEL (03) 4330-9100

[URL:http://www.jt-corp.co.jp/](http://www.jt-corp.co.jp/)